

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	事業番号	011-174
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	2,629,459	2,746,593	2,446,320	1,923,515	2,841,610
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	369,300	420,000	940,000	420,000	1,260,000
	その他（指定寄付金）	120	10	1,000	0	300
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	一般財源	2,260,039	2,326,583	1,505,320	1,503,515	1,581,310
	人件費（b）	16,400	20,250	20,250	20,250	21,000
15	年間経費（c）=（a）+（b）	2,645,859	2,766,843	2,466,570	1,943,765	2,862,610

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	地方独立行政法人堺市立病院機構 評価委員会報酬	決算	92	92	その他使用料及び賃借料	決算		0	0
			予算	102	102		予算		16	16
	普通旅費	R6	決算	2	2	堺市立病院機構運営費負担金	R6	決算	1,503,292	1,503,292
		R7	予算	10	10		R7	予算	1,580,990	1,580,990
	消耗品費	R6	決算	28	28	堺市立総合医療センター指定寄付 金負担金	R6	決算	0	0
		R7	予算	30	30		R7	予算	300	0
	郵便料	R6	決算	2	2	医療機器整備資金貸付金	R6	決算	420,000	0
		R7	予算	12	12		R7	予算	1,260,000	0
	筆耕翻訳料	R6	決算	99	99		R6	決算		
		R7	予算	150	150		R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 延べ患者数	人	385,376	380,834
	② 上記①にかかる年間経費	千円	2,766,843	1,943,765
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,180	5,104
	算出についての説明等	延べ患者数とは、入院患者延数と外来患者延数を合算したもの。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	運営負担金は、地方独立行政法人法第85条に定める設立団体が負担すべき費用であり、本市においては、政策医療等の実施に係る経費を総務省が定める公営企業繰出金基準に準じて算出している。 令和6年度から第4期中期目標が開始されることに伴い運営負担金の算定方法の一部を見直した。本市からの負担金を活用し、年間を通じた救急医療の提供や、小児、周産期医療を必要とする患者の診療、感染症指定医療機関として新興感染症等に対応する危機管理体制の整備等に取り組んでおり、一定の費用対効果はあったと評価する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和6年度においても、年間を通して救急医療の提供を行い、救急搬送受入件数9,952件（応需率73.3%）、三次救急搬送受入件数777件（応需率90.2%）、小児救急搬送受入件数1,501件（応需率95.1%）と安定した受入体制を継続しており、救急搬送からの入院件数は4,221件と過去最多を記録した。小児救急医療については、堺市こども急病診療センターの後送病院として、堺市内で最も多く受入れを行った。また、経営指標の一つである病床稼働率、入院患者数や手術件数は増加している。一方で、周産期医療に関しては産婦人科医師の人員不足により一部診療が制限され、市民・利用者に一定の影響が生じた。全体としては、事業目的である政策医療、不採算医療などの医療提供はおおむね達成されていると評価する。
----	---